

原子力利用の将来像についての検討委員会分科会の設置について

分科会名：原子力発電の将来検討分科会

1	委員の構成	分科会は、会員又は連携会員若干名をもって組織する。
2	設置目的	日本学術会議としての歴史を踏まえた、原子力発電、そして原子力の平和利用に対する現在の考え方を総括するとともに、これらの課題に対する学術的観点からの検討結果を国民ならびに世界に対して示すために 2012 年 9 月に設置した「原子力利用の将来像についての検討委員会」は、その審議範囲が原子炉力発電の安全性、放射線の利用に係る課題、原子力学に関する人材育成、原子力学の研究の方向性等、極めて広範であり、2012 年 12 月 19 日に開催された原子力利用の将来像についての検討委員会(第一回)において、調査検討すべきテーマ毎に分科会を設け、集中的に審議を進めることとなった。 本分科会では、原子力発電所の安全管理の評価、原子力発電所の安全基準とその実現可能性、原子力発電所の社会的費用便益等の原子力発電の安全性を踏まえた将来の在り方に関することを調査審議するために設置するものである。
3	審議事項	原子力発電の安全性を踏まえた将来の在り方の検討 ○ 事故は起こりうるという前提に立った原子力発電所の安全管理（体制ならびに基準）の評価 ○ 新設あるいは定期点検原発再稼動に関わる安全基準とその実現可能性 ○ 重大事故なしという「神話」に立たない原子力発電所の社会的費用便益 ○ 他国における原子力安全対策及び原子力発電に関わる政府の方針
4	設置期間	時限設置 平成 24 年 12 月 21 日～平成 26 年 9 月 30 日
		常設
5	備考	